

第 7 3 回 渋川摂食嚥下研究会レポート



日時：令和 3 年 1 2 月 7 日（火）午後 7 時 00 分～
会場：渋川ほっとプラザ 4 階

I 事例報告：『OHAT の実践』～口腔ケアの統一を目指して～ 特別養護老人ホーム 永光荘



特別養護老人ホーム 永光荘
の介護支援専門員 石関氏から
施設で実際に行った事例を報告
していただきました。

事例は、口腔内の乾燥がひどく
なっている入所者様で
す。OHAT を実施→口腔ケアプ
ランの見直しをして、保湿剤でのケア回数を増やす・誰がいつ
ケアをするかを明確にして連絡票を作成→2 週間後に再評価
したところ、乾燥状態が軽減し、痰のからみも減るなど口腔内
の状態が改善されたとの報告でした。また状態が良くなったこ
とによって口腔ケアの時間も減り介護負担が減ったそうです。

介護職員からは「口腔内の細かなところまで見ていなかった
が OHAT を行うことにより気づくことが出来た」「自分で訴え
ることのできない方が多いので、痛みに気づくことができた」
「OHAT を行うことで、その人に合った口腔ケアを見つける
ことができる」といった感想が挙げられたとのことでした。

参加者内訳

職種	参加人数
医師	3
歯科医師	7
歯科衛生士	7
薬剤師	1
保健師・看護師	6
ST・OT・PT	6
管理栄養士・栄養士	4
介護支援専門員	5
その他	4
合計	43

Web 参加※	23 ヶ所
---------	-------

※1 ヶ所で複数名の参加あり

II アセスメント実習：『OHAT について』

講師：群馬県立小児医療センター 歯科・障害児歯科
部長 木下 樹 先生

後半はアセスメント実習です。

「OHAT 口腔アセスメント 1,000 本ノック！」と称して
OHAT の 8 つの評価項目について、写真をみながら評価・解説
を行っていただきました。どの職種が行っても比較的評価の差
が出ないと言われている OHAT ですが、事例をみながら解説
していただくことによって、より判断基準の理解が深まったのではないのでしょうか。

個人的な感想ですが、実際に行ってみると、口全体の状態に目がいってしまい評価に
影響してしまいました。「評価項目のみを評価する」ということも大事なようです。

歯痛の評価については、認知症のある方などコミュニケーションがとりにくい方は
「痛いかな」と質問すると「痛い」と回答されてしまう方もいるので、必ずしも判断基
準にならないとのこと。本人からの訴えがあるとか食
事ができているかどうか等で判断することも必要と
なってくるそうです。

「2 点の項目が 1 つでもあったら歯科医師の受診
を検討してください。」とのことでした。うまく OHAT
を取り入れて利用者の皆様に必要な対応に繋がられ
たらよいですね。

注：アセスメントは 1,000 本なかったです。ほっ😊

まとめ OHAT 評価のポイント

- ・評価に時間をかけない
- ・どちらか悩んだら悪い方を選択
- ・定期的に評価を行う

スコア 2 点が 1 つでもあれば
歯科受診を！

